

# Book Review

## 本音を教えて! GPが知りたい インプラント外科 Q&A67

岸本裕充・吉竹賢祐・野阪泰弘・十河基文・高岡一樹 編著

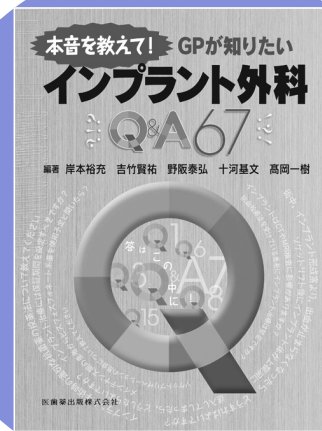


Reviewer

水上哲也 Tetsuya Mizukami

(福岡県・水上歯科クリニック)

A4判, 184頁  
オールカラー  
定価(9,000円+税)  
医歯薬出版刊



本書は、Q & A方式で書かれた最良のテキストである。

インプラント全般にわたるテキストとなるとその膨大な情報量で分厚くなった書籍をみて、気が引けてしまうこともしばしばである。本書『本音を教えて! GPが知りたい インプラント外科 Q & A67』はタイトル通り Q & A方式で書かれており読みやすいのはもちろんのこと、インプラント臨床にたずさわる者にとって必要な、そして現在最も旬で重要と思われる項目だけをピックアップし、それに最新の情報を折り混ぜて書かれている。以下に本書の特徴を述べると、

1. 部厚いテキストではなく適度なページ数であるため読みやすい
  2. 各項目では必要な部分を簡潔にわかりやすくまとめられており、実践しやすい
  3. 具体的な対応・対策(例:知覚神経障害時の投薬など)が明記されており、いざという時に役に立つ
  4. 治療の契約についての考え方、インフォームドコンセントなども詳しく述べられているだけでなく、手渡しする書類も具体例が載せており、実用的である
- などである。さらに、各章ごとにその特徴を述べてみよう。

### 第1章『リスク因子とその評価の仕方』

インプラント治療において中長期的で良好な予後を得るためにはリスク因子の評価が重要であるが、本書ではインプラント治療に必要なリスク因子とその評価法が述べられている。特に外科処置だけでなくメンテナンスの観点から述べられている点も斬新である。

### 第2章『治療の契約, インフォームドコンセント, 医療安全検査, 診断, 治療計画』

本章で特筆すべきは、契約の考え方や保証について捉え方がわかりやすく解説されているところである。とくに誤解しやすい領域であるため、医療人として必読であると感じる。また同意書の具体例などが呈示されており非常にありがたい。

### 第3章『手術の準備, 術前, 術後の注意点』

ここでは、手洗いやモニタリングなど開業医レベルでも対応可能な具体的手法が現時点での情報として解説されている。感染予防対策、滅菌、術後注意なども見逃せない項目である。

### 第4章『投薬』

鎮痛薬の効能、効果、使用、特にNSAIDsとアセトアミノフェンの違いや、安全な鎮痛薬の投与について解説されている点が臨床医にとってありがたい。その他、抗菌薬に対する基本的

考え、使用法の具体例などが示されており、診療室に置いて時々見開きたい内容となっている。

### 第5章『インプラント一次手術・二次手術』

一次手術・二次手術の基本術式のみならず、術前処置(特に口腔清掃や体温変化の対策など)に加え術後の疼痛に対する考え方や対策についても解説されている。また、手術中のトラブルや出血(減張切開やCTG時の出血)に対する処置法が述べられている。

### 第6章『インプラント関連手術』

実際のインプラント臨床では骨形成が不十分なケースや術後裂開などに直面することもあるが、このようなケースの対応や予防対策が述べられている。また減張切開の効果的な方法やサイナスリフトトラブルの予防対処法も書かれている。

最後に、本書の読み方を提案したい。先に述べたように本書はトラブルを防ぎ良好な予後を確立するために必要な項目を集めた書籍である。重要な項目をピックアップしてページ数をおさえているためチェアサイドに置いておくテキストとして最良である。また、最初のページから順番に読む必要はなく、必要な項目を適宜繰り返し読むと効果的であろう。